

令和3年度教育研究業績書

氏名 井岡康時

最終学歴	京都大学文学部史学科国史専攻	
取得学位	学士	
所属学会	日本史研究会、全国部落史研究会	
専門分野	日本近代の地域史、部落問題史	
研究課題	奈良・京都・滋賀の近現代の地域史、差別史	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・史学演習Ⅰ(七)(八) ・史学演習Ⅱ(七)(八) ・史料講読Ⅰ(十二) ・史料講読Ⅱ(十二) ・史料講読Ⅲ(十二) ・史料講読Ⅳ(十二) ・日本史基礎講義Ⅱ「近現代史における国民と他者」 ・日本史特殊講義Ⅳ「差別と排除の地域史」 ・日本史特殊講義Ⅰ「自治と自律の地域史」
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・文献史学特論(九)
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費研究「近代都市における地域共同体の変容に関する歴史的研究—京都市を事例として—」(科研No.60810926)代表 ・同志社大学人文科学研究所「第9研究 歴史学の成り立ちをめぐる基礎的研究—現場と公共性—」に参加 ・『五條市史』編集委員として奈良県五條市の歴史史料調査を実施 ・『京田辺市史』執筆メンバーとして京都府京田辺市の歴史史料調査を実施 	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の現場を体験するため、史料を読みながら奈良町を歩いた。コロナ禍に注意しつつ今後も継続の予定 ・古文書に用いられている「くずし字」の解読塾を実施 	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・『五條市史』(奈良県)編集委員 ・『京田辺市史』(京都府)近現代史部会員 ・世界人権問題研究センター研究員、プロジェクトチーム2リーダー ・水平社博物館展示委員 ・奈良県立同和問題関係史料センター調査研究員 ・奈良人権部落解放研究所図書刊行編集委員 ・御所市文化財保護審議会委員 ・講座、研修会等 <ul style="list-style-type: none"> ○桜井市立織田小学校職員人権教育研修(2021年8月25日) ○滋賀県職員人権研修(2021年9月2日) ○京都府シルバー人材センター人権研修(2021年9月17日、12月3日、12月10日、2022年1月7日) ○奈良県人権部落解放研究所人権講座(2021年10月7日) ○奈良市新規職員人権政策研修(2021年10月28日) ○京都部落問題研究資料センター講座(2021年10月29日) ○奈良県都市人権教育担当指導主事連絡協議会研修会講師(2021年11月5日) ○天理市人権教育研究会研修(2021年11月18日) ○京都市共生社会推進室人権啓発講座(2021年12月2日) ○滋賀県人権セミナー(2021年12月17日) ○比叡山高等学校職員研修(2022年3月4日) 	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	学生指導委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①『奈良県立高田高等学校百年物語』	単著	2021年11月	奈良県立高田高等学校	奈良県立高田高等学校の創立100年にあたり校史を叙述
②講座近現代日本の部落問題第1巻『近代の部落問題』	共著	2022年3月	解放出版社	「地域社会と部落問題」を担当執筆(266～299頁)
③『写真記録 部落解放運動史 全国水平社創立100年』	共著	2022年3月	解放出版社	「融和運動・融和団体」を担当執筆(88～89頁)
(学術論文)				
①「一八八六年のロックダウン—大和国十市郡北八木村におけるコレラ感染をめぐる覚書—」	単著	2022年2月	奈良大学文学部史学科『奈良史学』39号	1886年(明治19)のコレラ感染をめぐる状況について論述(50～67頁)
②「京都府における郷土教育の展開とその背景」	単著	2022年2月	同志社大学人文科学研究『社会科学』51巻4号	明治期から昭和期にかけて京都府で進められた郷土教育の実態について論述(1～30頁)
③「大学における人権教育—『差別の構造と国民国家』を読んで考える—」	単著	2022年3月	『奈良大学人権教育研究』19号	大学における人権教育の現状と課題についての考察(1～10頁)
(学会発表)				
①				
②				
③				
(その他)				
①				
②				
③				